

埋蔵文化財としての産業遺産  
初代門司駅遺跡をめぐって



# 文化財を地域の宝に

～歴史文化を活用したまちづくりを目指して～

北九州は九州の玄関口として明治日本の産業革命に大きくかかわってき土地です。官営八幡製鉄が建設され、わが国の歴史上も、また、世界史上も極めて重要な近代化遺産を有しています。

有識者及び市民達は、こうした文化財的な側面だけではなく、子どもたちの教育においても大きな価値を持つ教育的な資源になるものと評価しています。

この大切な文化財を広く市民の皆様にご存知いただくと共に、市民総がかりで地域遺産を保存・活用し、観光や地域づくりに活かしていくための一歩として、シンポジウムを開催します。

令和 7 年

5 月 31 日 (土)

時間: 13 時 00 分 ~ 17 時 00 分

12 時 30 分開場

会場: 九州国際大学メディアセンター

事前申込制

参加費: 会員 500 円 (資料付き)

会員外 600 円 (資料付き)

※お申込み右の QR コードから



## ● シンポジウム 「埋蔵文化財としての産業遺産」 ～初代門司駅遺跡をめぐって～

### ● 報告

- 安部和城: 発掘担当者の立場から「遺跡の概要」
- 清水憲一: 産業遺産学会の立場から「歴史的な価値」
- 溝口孝司: 日本イコモスの立場から「国際的な評価」
- 森ゆみ子: 市会議員の立場から「行政の対応について」
- 吉田清春: 門司区住民の立場から「住民団体の活動」

### ● パネルディスカッション

コーディネーター

時里奉明 (九州産業遺産研究会 会長・筑紫女学園大学教授)

パネラー

- 安部和城 (熊本県阿蘇草原再生・世界遺産推進課学芸員)
- 清水憲一 (産業遺産学会 会長・九州国際大学名誉教授)
- 溝口孝司 (日本イコモス副会長・九州大学教授)
- 森ゆみ子 (北九州市市会議員)
- 吉田清春 (門司の躍進を考える会 会長)

総司会: 尾崎徹也 (九州産業遺産研究会 事務局長)



吉田清春

清水憲一

時里奉明

溝口孝司

安部和城

森ゆみ子

問合せ先: 九州産業遺産研究会

Email: ozakitet@obhr.lolipop.jp

主催: 九州産業遺産研究会 共催: 九州国際大学・産業遺産学会